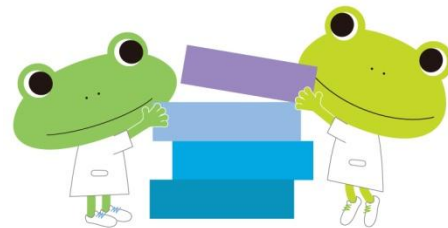


看護職のワーク・ライフ・バランス 3年間の取り組み

～看護ケア時間の充実を目指して～



平成27年1月22日（木）
岩美町国民健康保険岩美病院
山本 靖子



施設概要

(平成26年12月時点)

認可病床数	一般病床 60床	療養病床 50床
入院基本料	10:1	25:1
	(急性期看護補助体制加算 50:1)	
平均在院日数	16.2日	
病床稼働率	83.5%	86.0%

看護部の紹介

(平成26年12月時点)

職 員 数	看護師 66名(正規職員44名) 看護補助者 4名 介護士 13名
平 均 年 齢	看護師 45.2歳 看護補助者 43.2歳
勤 務 形 態	3交代
離 職 率	平成24年 13.3% 平成25年 6.9% 平成26年 4.5%
週 休 形 態	4週8休
年 間 休 日 数	121日
有 休 取 得 数	平成24年 8.1日 平成25年 10.3日
看 護 方 式	固定チームナーシング
時 間 外	平成24年 275h, 平成25年 273h, 平成26年 200h

ミッション

地域に根ざした病院として、
町民に満足してもらえる医療を提供していく。

ビジョン

看護職が信頼され、やりがい感を持って働くことができ、定年まで働き続けられる職場。

看護ケアに費やす時間を十分にとることができる

3年間の取り組みと成果

	目標	取 り 組 み 内 容	成果・課題
1 年 目	業務改善	★看護ケアと前残業の把握のため師長による面接の実施 ★看護補助者の活用 目標値80% 34.9% → 37.9%へUP	成果： 検温時間の変更の定着
2 年 目	看護補助者の業務拡大	★看護補助者1名を含む検討チームの発足 ★定例会1回/月実施 ★チームメンバーが他院への見学研修 ★業務基準書・業務一覧/略語集/業務手順書 ★教育計画・実施 目標値80% 37.9% → 47.9%	成果： 業務の明確化 補助者の役割の共通理解 課題： 柔軟な対応が困難 双方の認識のズレ
3 年 目	改善点の把握	★看護師・補助者へ同じアンケートによる聞き取り	成果： 62%の看護師が肯定的な回答 課題： 5月に1名退職で補充がない 4人体制 双方の認識のズレ

岩美病院 看護補助協働業務の見学

平成25年7月23日（火）8:30～17:00

参加者：副師長 主任看護師 看護補助者1名

時間	内容	担当
8:30	見学内容打ち合わせ	副部長
8:45	病院案内	副部長
9:15	朝のカンファレンスで紹介	副部長
9:30	病院の概要 看護部の概要	看護部長
10:30	看護補助者との協働業務推進について ○協働業務推進の経過	副部長
11:30	看護補助者の役割と勤務体制 ○ 看護補助者の役割（業務と教育部会） ○ 看護補助者の勤務体制	看護補助者主任
12:00	休憩	
13:00	看護補助者と連携体制 ○ 固定チーム ○ 看護補助業務の管理について	病棟師長
14:00	看護師・看護補助者協働業務の実際 ○ 看護師と看護補助者の連携 ○ 具体的な業務内容	看護補助者主任
15:00	看護補助者教育体制 ○ キャリアラダー研修内容 ○ 新人看護補助者の教育	教育担当師長 看護補助者主任
16:00	看護補助者間の応援体制 ○ 外来看護補助者の病棟応援 ○ 日2の業務内容	外来看護補助者
16:30	意見交換会	担当者
17:00	終了	

急性期医療における看護補助者の業務一覧

A＝看護補助者が行うこと
C＝看護師と一緒にすること

B＝看護師の指示のもと看護補助者が行うこと
D＝看護師がおこなうこと

平成25年10月9日作成 岩美病院2F病棟

大項目	中項目	小項目	分類	その他
1. 生活環境	1) 病床及び病床周囲の清潔、整頓	(1) 環境整備、ハウスキーピング	環境整備、ベッドケア	A
			床頭台、オーバーテーブル、ベッド、棚、ロッカー、ベッド灯周囲NSコーン、壁等の上拭き	A
			床掃除(汚染時)	A
			個室トイレ、洗面所、ドア、230号室掃除	A 230号室火・木は業者
			ベッドサイドのゴミ集め	A
			ロッカー内、テレビカードの確認	A
				A
	2) 病室環境の調整	(1) 温度、湿度の調整、採光、換気など	換気	A 網戸の使用
			カーテンの開閉	A 網戸の使用
			室温の調整(大部屋)	A 個室は看護師
	3) リネン類の管理	(1) カーテンの開閉	入院時ベッドメイキング	A ドローシートはベッド欄
			退院後のベッドの清掃	A
			シーツ交換(患者臥床なし)	A
			シーツ交換(患者臥床ライン類なし)	B
			シーツ交換(患者臥床ライン類あり)	C
			マットレスの選定	B
			マットレスの洗濯	B
			ベッド、棚の設置	B
		(2) リネン管理	リネンの請求、収納、返納	A カバー掛け、伝票へ
			リネンの整理、整頓	A
			リネンの管理	D
			業者依頼患者の洗濯物の提出、受領	A 月、木に1Fリネン庫へ
			付き添い布団手続き	D
			付き添いベッド設置、片付け	B
			付添布団設置、片付け	B
				B
				A
2. 日常生活	1) 身体の清潔に関する世話	(1) 患者の身体の清潔、更衣	清拭手先、足先、タオルを絞るなど一部介助)	A
			清拭(点滴なし、意識清明)	B
			清拭(点滴なし、意識状態不良)	C
			清拭(点滴あり)	C
			清拭部分	B
			手浴、足浴	B
			陰部洗浄(BT挿入あり)	B
			陰部洗浄(BT挿入なし)	B
			全身清拭(医療器械あり、意識清明)	C
			全身清拭(医療器械あり、意識状態不良)	C
			更衣、シャワー浴(見守り、背中を流すだけなどの一部介助)	B
			更衣 ラインなし 意識明瞭	B
			更衣 ラインあり 意識明瞭	C
			更衣 ラインなし 意識不良	C
				B
				B
				C
				C

用語表 1

2014年 4月

ADL	日常生活動作(日常生活を行う為の基本動作)			PEJ	腸ろう		GIF	胃カメラ	
Appe(アッペ)	虫垂炎			PEG	胃ろう		MRI	磁気共鳴撮影	
CF	大腸内視鏡検査			PT	理学療法士		VF	えんげ造影	
COPD	慢性閉塞性肺疾患			Pt	患者		Echo/エコー	超音波診断	
CPA	心肺停止			SPO2	経皮的酸素飽和度		UCG	心エコー	
CT	コンピューター断層撮影			Vr	嚥下造影		AUS	腹エコー	
CV	中心静脈カテーテル			X-P	X線写真		ABG	動脈血ガス	
DM	糖尿病			マーゲンチューブ			CHS	コンプレッションピップスクリュー	
ECG	心電図			ENT	退院		UHR	人工骨頭置換術	
エコー	超音波診断			HD	血液透析		THA・THR	人工股関節全置換術	
ES	弾性ストッキング			HP	病院		アンプタ	四肢の切断	
GE	グリセリン浣腸			NG(チューブ)	経鼻胃チューブ		PEG-J	経胃ろう的空腸ろう	
MRSA	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌			NST	栄養サポートチーム		CPR	心肺蘇生	
O2	酸素			気切			AED	自動体外式除細動器	
OP	手術			シュアプラグ			ACLS	二次救命処置	

岩美病院 看護補助研修プログラム					
2014年			4月		
	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目
組織人として	社会人・組織人としてのマナー				
	・病院の組織を知る				
	・言葉づかい・身だしなみ・挨拶				
	・人とコミュニケーションがとれる				
目 標	病棟になれる (1週目)	病棟の特徴になれる(医療) (2週目)	NSとの協働業務の流れを理解する		
		基本技術・態度を身につけケア が安全・確実にできる	日勤業務を理解でき、聞きながらできる 困った時には、上司に相談できる		日勤業務独り立ち 配茶が独りで出来る
基本的な進行	リーダーの指示のもと、ケア見学から段階的に行う		プリセプターの指示		
	教育・業務担当者がフォローする オリエンテーション(リーダー)	協働業務基準について(副師長) 業務手順について説明(業務)	早番・遅番がフォローする	出来ない業務を習得 できるように支援する	
	・業務進行の説明				
業 務	日勤業務(ケア見学&段階できに行う)	日勤業務(ケア見学&段階的に行う)			早遅業務について説明
	・スタッフに同行して流れを知る	・食事介助について(プリセプター)			・流れが理解できる
	介護チーム業務の説明(業務)	・入浴介助について(プリセプター)			
	・タイムテーブル業務について ・用語 & 特別検査表 & 消毒について	・オムツ交換について(プリセプター) ・清掃について(プリセプター)			
サポート研修	オムツ交換研修	個人情報研修			
	トランスファー(PT)	防災訓練			
	インシデントレポートの記入について				
	嚥下について 感染予防、標準予防策				
評 価		チェックリスト記入			業務チェックリスト
					・自己 & リーダー評価
					(1ヶ月後)
					振り返り ・本人、リーダー、師長

看護ケアに費やす時間を十分にとることができる

3年間の取り組みと成果

	目標	取 り 組 み 内 容	成果・課題
1 年 目	業務改善	★看護ケアと前残業の把握のため師長による面接の実施 ★看護補助者の活用 目標値80% 34.9% → 37.9%へUP	成果： 検温時間の変更の定着
2 年 目	看護補助者の業務拡大	★看護補助者1名を含む検討チームの発足 ★定例会1回/月実施 ★チームメンバーが他院への見学研修 ★業務基準書・業務一覧/略語集/業務手順書 ★教育計画・実施 目標値80% 37.9% → 47.9%	成果： 業務の明確化 補助者の役割の共通理解 課題： 柔軟な対応が困難 双方の認識のズレ
3 年 目	改善点の把握	★看護師・補助者へ同じアンケートによる聞き取り	成果： 62%の看護師が肯定的な回答 課題： 5月に1名退職で補充がない 4人体制 双方の認識のズレ

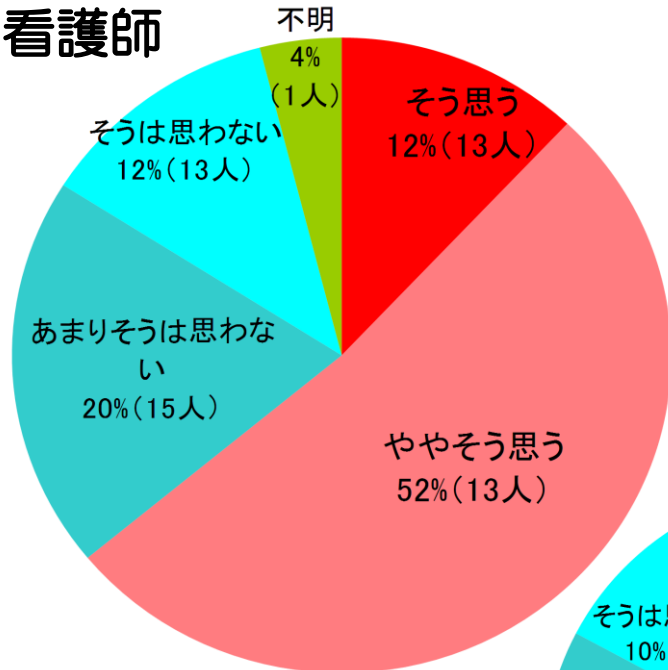
アンケート結果

問い：看護補助者への業務移行により
看護ケアに費やす時間を十分にとることができるようになったと感じますか？

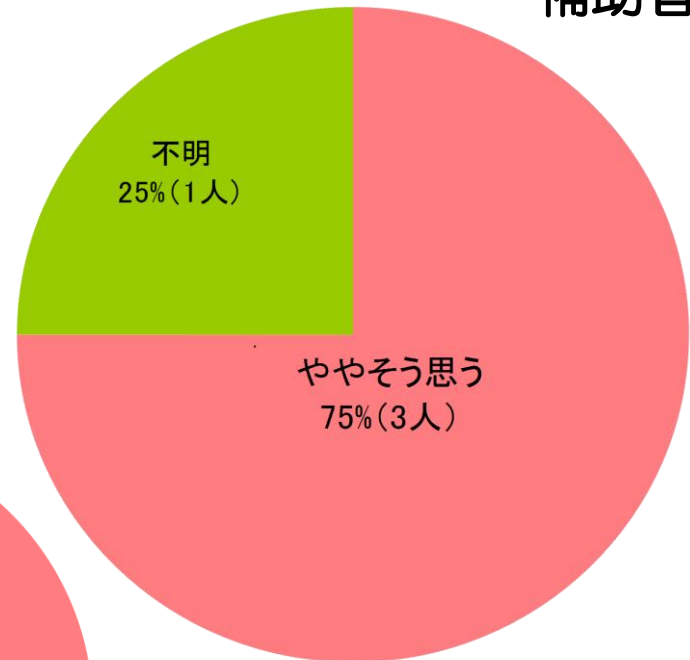
回答率：29/32 91%

平成26年9月

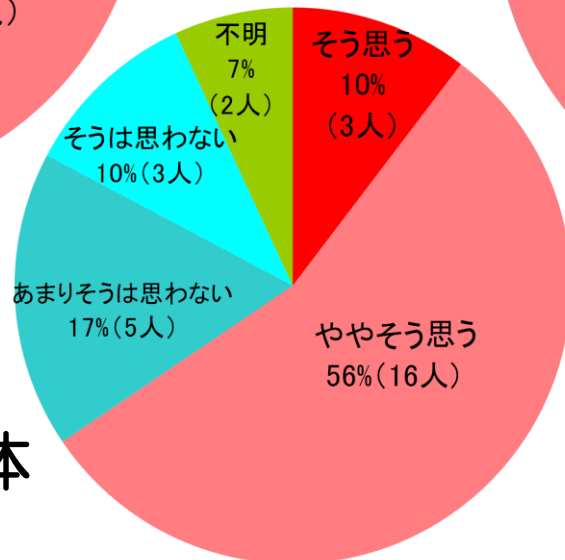
看護師



補助者



全体



まとめ

町民に満足してもらえる医療

スタッフの
満足度が高まる

やりがいを持って
仕事ができる

看護補助者の
業務拡大

中堅・ベテラン
看護師の自己
評価の向上

管理部門が
自信を持って
働く

安心して働き続けられる職場環境

